

学校だより 3月号



# みなみたなか

学校標語 「笑顔かがやき 優しさいっぱい」



令和5年 3月 1日  
練馬区立南田中小学校  
校長 原田 知樹

## 1年間を振り返って

校長 原田 知樹

3月を迎えるに当たって、だいぶ暖かい日も増えてきました。それと共に、1年生の子供たちが開花を心待ちにし、毎日、水やりをしながら大切に育てているチューリップの球根からは、力強い命の息吹を感じさせる若い芽が、次々と顔を覗かせ始めました。新1年生が入学してくる4月には、きれいな花々を咲かせてくれることでしょう。

さて、過日に行われた道徳授業地区公開講座では、意見交換として保護者の皆様からアンケートへのご回答をお寄せいただきまして、ありがとうございます。道徳教育推進教師の後藤主任教諭を中心に、それらをまとめましたので、本日、各ご家庭にもお配りいたします。いただいたご意見を拝見すると、ご家庭でも「相手の気持ちに立った思いやり」「言葉遣いや挨拶」「子供との会話」など、教育基本法で掲げられている「人格の完成」の基盤となる「道徳性」にかかわる内容を大切にしながらお子さんと接していることが伝わってきて、たいへん心強く感じました。これからの世代、未来を切り開いていく子供たちです。その子供たちへの心の教育について、家庭と学校、あるいは、家庭と家庭とが考えていくことのできる、1つのよい機会になれば、という思いで作成しましたので、ぜひ、ご一読いただきたく思いますよう、お願い申し上げます。

さて、早いもので今年度も、締めくくりである最後の月となってしまいました。3月の登校日数は、1年生から4年生までが16日、卒業式に参列する5年生と6年生が17日であり、今年度に残された日々は実際、あとわずかとなっています。しかし、物事の捉え方としてこの日数を「もう、これだけしかない。どうしよう。」と慌てるように受け止めるか、「まだ、これだけある。だから、毎日を一生懸命に計画的に過ごしていこう。」と前向きに考えていくかで、毎日の行動や充実度も変わってくると思います。子供たちには、前者よりも後者のような気持ちで、1年間の学習や生活におけるまとめをしっかりと実践して、よりよい区切りが迎えられるよう指導してまいります。また、この1年間の振り返りをするということでは、一人一人がキャリアパスポートを活用しながら、これまでの自分の足跡や成長を見つめ内省すると共に、次のステージへの夢や希望、目標を抱けるようにしていきたいと思えます。キャリアパスポートは、お子さんが記入後、一度、ご家庭へ持ち帰ります。保護者の皆様には、お子さんと一緒に本年度における学びを振り返り、認め励ましていただきながら、コメント欄にはお言葉をご記入いただきますよう、よろしくお願ひいたします。

この1年間を振り返ると、依然、コロナ禍ではありましたが、毎日の落ち着いた学習をはじめ、体育学習発表会や学芸的発表会、学年によってですが移動教室や宿泊学習、観劇や東京湾クルーズ、バスを乗っての社会科見学、特別活動では1年生を迎えるdayや6年生と遊ぶweek等々、昨年度よりもさらに社会状況に応じた様々な工夫を施しての教育活動を展開することができ、充実した1年間を過ごせました。これも、保護者や地域の皆様からのあたたかい見守り、お力添えをいただけたからこそだと思っています。感謝を申し上げます。

学校標語「笑顔かがやき 優しさいっぱい」を掲げて、4年目を終えようとしています。今年度も、子供たちの美しい行いから、カラフルな美しい花々が開きました。次年度も、きらきらと輝く笑顔の花、優しさの花、そして、心の花が満開に咲き誇るように、皆様でご協同・ご協働いただけたら幸いです。この1年間、ありがとうございました。

### 【教員の人事異動に関する報道発表日の変更】

東京都教育委員会は、例年4月1日に教員の人事異動について報道発表を行っていましたが、令和5年4月1日付人事異動については、テレビ・ラジオ等で3月21日(火)17時以降、新聞で3月22日(水)に発表することとしました。

つきましては、本校では3月23日(木)の修了式後に、子供たちに転出(退職)する教員の紹介をします。また、離任式については、改めて次年度に行います。

なお、事務職員等の行政系職員等においては、修了式より後の日に人事発表がされる予定です。それらも含めて、本校、全教職員の人事異動について紙面にてお伝えするのは、例年通り、新年度の学校だよりでお知らせいたします。

### 【児童名簿を用いた情報提供】

保護者会でもお伝えしていますが、児童名簿を用いた情報提供については、新年度の学級編成や、遠足などの行事における班編成など、その状況をご家庭へお伝えし、教育活動へのご理解をいただくために必要なものであります。また、運動会や学校公開など、保護者の皆様が来校される機会でも、部外者侵入の抑止として受付で使用するなど、教育活動を安全かつ円滑に推進していく上で不可欠です。

児童名簿を用いた情報提供につきまして、何とぞ、ご理解をいただきますようお願いいたします。なお、ご事情により、どうしても名簿の配布に同意いただけない場合には、副校長の野口までお申し出ください。

# 3月の行事予定

月	火	水	木	金	土	日
		1 6年生を祝う会 保護者会(6)  4 4 4 4 4 5	2 心ふれ 学級の時間 地域未来塾  5 5 6 6 6 6	3 SC 学級の時間  5 5 5 5 5 5	4	5
6 心ふれ 全校朝会 委員会 中休み集会 (1, 2, 3, み) 4 5 5 5 6 6	7 学級の時間  5 5 5 5 5 5	8 中休み集会 (4, 5, 6)  5 5 5 5 5 5	9 心ふれ 学級の時間 地域未来塾  5 5 5 5 5 5	10 SC 学級の時間  5 5 5 5 6 5	11	12
13 心ふれ 学級の時間 そろばん出前授業(3) 大掃除週間始 4 5 5 5 5 5	14 学級の時間 そろばん出前授業(3)  5 5 5 6 6 6	15 保護者会(み) そろばん出前授業(3)  5 5 5 5 5 5	16 心ふれ 集会  5 5 5 5 5 5	17 SC 学級の時間 大掃除週間終  5 5 6 6 6 6	18	19
20 心ふれ 学級の時間  4 5 5 5 5 5	21 <b>春分の日</b>  5 5 5 5 5 5	22 卒業式予行(5, 6) 馬頭琴出前授業(2) 給食終 4 4 4 4 6 6	23 心ふれ 修了式  4 4 4 4 4 4	24 卒業式(5, 6)  0 0 0 0 2 2	25 <b>春季休業日始</b>  5 5 5 5 5 5	26
27	28	29	30	31	1	2

※ SC：スクールカウンセラー出勤日 心ふれ：心のふれあい相談員出勤日

※ 各日の数字は授業時数です。1番左が1年生、1番右が6年生です。

※ みなみん学級の下校時刻については学級で配布した月行事予定表をご確認ください。

※ 3月の避難訓練は予告なしで行います。

## 【3月の生活目標】

### 感謝の気持ちを 伝えよう

「お世話になったらどうする？」と尋ねると、子供たちは「感謝する。」と答えます。この反応は正しく、子供たちの素直で正直な気持ちです。しかし、「どうして?」「どんなふうに?」と、問い続けると、具体的な言葉を付け加えられる子は意外と少ないかもしれません。学校では、学年末となる3月。子供たちと「感謝の意味」や「感謝はなぜ大切なのか。」などについて、考え、話し合っていきたいと思います。ご家庭でも、お子さんと一緒に、お子さんの成長を振り返りながら、その成長に関わり支えてくださった方々について、一緒に考える機会を作っていただければと思います。  
(生活指導主任 江澤 充)

## 【6年生と楽しむWEEKについて】

例年、卒業生の門出を祝う「6年生を送る会」は、体育館に全校児童が集まり実施しています。しかし、今年度も昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、全校児童が一堂に会して実施することができませんでした。そこで、今年度は「6年生と楽しむWEEK」と題し、1～5年生が、それぞれ6年生との思い出になるような遊びや出し物を企画しました。学年ごとに6年生と楽しく過ごし、卒業をお祝いする気持ちや感謝の気持ちを伝えることができました。いつもとは違う形になりましたが、卒業前のすてきな一時となりました。一方、6年生は在校生へお礼の気持ちを伝えるために、動画を作成しています。在校生は、これを3月2日に見る予定です。  
(特別活動部主任 疋田 岳)

## 【『愛のハガキ運動』のお礼】

学校だより12月号と1月号でお知らせしていました「愛のハガキ運動」にご協力いただきまして、ありがとうございました。

今年度は、皆様からのご寄付を、公益財団法人 日本盲導犬協会にお渡しいたしました。協会を通して、盲導犬の育成をはじめ、視覚障がい者の方の自立支援を目的とした様々な事業に役立てていただきます。

南田中小では、引き続き、未使用の郵便ハガキや切手を募集していきます。ご協力いただけるものがありましたら、各担任までお渡しください。

## 【今年度の校内研究について】

今年度は、「一人一人が主体的に取り組み、表現できる児童の育成～各教科・領域からのアプローチ～」という研究主題で、校内研究を進めました。様々な教科の中で児童が自分の思いや考えを、表現できるような授業の工夫を研究しました。全3回の校内研究全体会では、講師の先生をお招きし、全教員で学ぶ機会をもつことができました。さらに、今年度は一人一授業にも取り組みました。全教員が研究主題に迫るための指導の工夫を考えて授業を行うことは、貴重な学びの機会となりました。来年度も、南田中小学校の児童のよりよい成長につながるような校内研究に取り組んでいきます。

(研究主任 原 多紀)